



市議会報告

松島 ことえ

2021年
10月17日発行

会派 市民ネットワーク

議会報告会のご案内

11月13日(土)13:30～
西志津ふれあいセンター
(西志津 4-1-2)

8月市議会 (8/23～9/21)

放置される自宅療養者

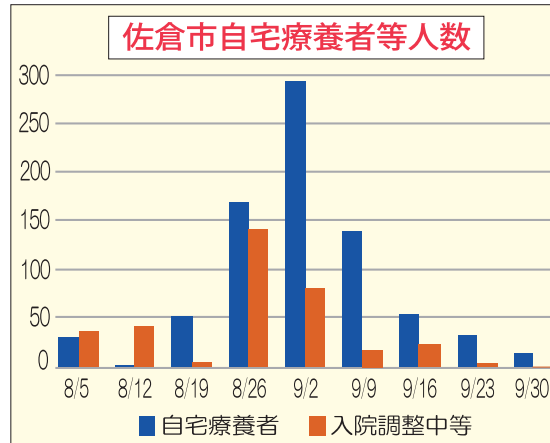
感染が急拡大

8月末から9月にかけて感染が急拡大。県内では、病床がほぼ満床となり、自宅療養者が増加する中、亡くなる人も出ました。自宅療養とは名ばかりの、ただの「放置」です。市内でも最大で自宅療養者が296人にのぼりました。ピークのさなか、8月31日に議会で質問しました。

情報が来ない

感染者の個人情報保健所で集約され、市にはこないため、市は自宅療養者がどこにいるのかも分かりません。1日1回の安否確認が原則となっているにも関わらず、保健所が逼迫しているため、医療機関で陽性と判定されたのに1週間も連絡がこなかったという市民の声が寄せられました。

厚労省の通知により、9月から自宅療養者の情報が市町村に提供



され、安否確認や生活支援ができるようになりました。しかし、一番必要なのは医療的な支援です。

自宅療養者に医療支援を

いすみ市では、市と市内の医療機関が連携して、自宅療養者を継続的に支援する「いすみ市コロナ在宅支援センター」を開設し、オンライン診療等を始めています。

感染が収まってきた今こそ、市が地元の医師会や訪問看護ステーションと連携し、自宅療養者を1日1回訪問看護する仕組みを作らねばと、市に強く求めました。

学校生活のきまり(校則)

制服や校則が原因で不登校になった児童生徒は全国で5000人超。校則について質問しました。

問 男女別の制服でなく、私服や、スカート、スラックスを選ぶようにしては？

答 スカートとスラックスを選択できる学校もある。要望があれば対応する。

問 男女別の髪型指定は必要か？

答 悩みがある生徒には個別に対応する。

文科省は、きまりについては生徒の主体性と意思を尊重することとしています。スラックスや髪型の選択制を市内全校に拡大し、子どもの精神的負担にならないよう、変更すべきと指摘しました。

学校トイレに生理用品を

経済的な理由から生理用品が買えない子どもが増えています。生理は、その名の通り生理現象なので、トイレットペーパーと同じ扱いとし、学校トイレに配置するよう求めました。

市は、管理面・衛生面の課題があり、引き続き保健室で配布することでした。今後も要望していきます。

8月市議会の採択結果

議案 / 意見書	結果	市民ネット	さくら会	公明	自民 さくら	共産	ひまわり会 オリーブ	新社		
佐倉市の横断歩道における安全・安心を実現する決議 (通学路の安全性が問われているのに否決に…)	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○
コロナ対策のため議員報酬の10%カットを求める条例制定	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○
★第6次エネルギー基本計画「素案」の抜本的見直しを求める 意見書(原発に頼らず再生可能エネルギーの拡充を求めて)	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×
★陸自オスプレイ基地外訓練の凍結を求める意見書	×	○	×	×	×	○	藤崎 宇田	○	×	×
★印は、市民ネットワーク提出 (敬称略)		五十嵐 川口 松島	中村、櫻井、石渡、 爲田、高木、敷根、 岡野、密本、斎藤(明)	岡村、久野、鍋田、 押木	山本、徳永、石井、 齋藤	萩原、木崎	藤崎、 宇田	稲田	高橋	玉城

2020年度 決算 命より公共事業優先

反対！ しました コロナ対策より道路や土地ですか

2020年度はコロナ禍が1年続いていたにもかかわらず、大型公共事業に多額の税金が使われました。

事業費約10億円のふるさと広場と草ぶえの丘を結ぶ飯野II-31号線の1/5の用地購入に2197万円、事業費約40億円の岩富・寺崎線境界杭の設置に216万円。城址公園の長らく放置されていた土地購入に7900万円、ふるさと広場拡張の土地購入のための測量費1650万円。

コロナ禍で、今後の税収減は当初から予想されていました。税収は確実に減っていきます。不要不急の公共事業は見直すべきです。



PCR検査は後回し

コロナ感染症の拡大を食い止めるため、市独自のPCR検査を子どもたちや高齢者に拡充するよう、私たちは求め続けてきました。市は、昨年9月によく子どもたちの独自検査を予算化しましたが、検査数はわずか47件。他市では、幅広い市民に対して独自検査を積極的に進めています。それとは対照的な市の状況。市民の命と健康を守る姿勢が問われます。

重い!高い!危ない!キャノピー

新佐倉図書館の総事業費は約37億5千万円。そのうち、地下化に約2億2千万円。入口前のひさし「キャノピー」は装飾目的だけに1億円。計画を見直し、減額するよう求めましたが、市は拒否。



「工事は進んでいる。今更反対してもムダ」という声もありますが、おかしいことはおかしいと声を上げ続けないと、また同じことが繰り返されます。市民が常に目を光らせ、声をあげることが大切です。

安全な通学路を



6月28日、八街市で下校中の児童の列に、飲酒運転の大型トラックが突っ込む死傷事故が起きました。事故をうけて県内緊急一斉点検が始まり、佐倉市での対象は78カ所。そのうち最も危険な20カ所の現地調査が行われ、対策が決まりました。しかしそこには、児童が増えている新しい住宅地はほとんど入っていません。例えば、宮ノ台の北公園近くの通学路(下の写真)。

カーブから現れた車が、すぐに横断歩道に到達します。電柱幕と看板はありますが、押しボタン式信号を設置するなど、改善する必要があります。

残り58カ所の具体的な対策は未定ですが、注意喚起のために、各学校のホームページで場所だけでも公開するよう求めました。

私たちの元には、身近な危険箇所の情報がたくさん寄せられています。一つ一つ現地調査を進めています。



↑市民から相談のあった、青菅小学校(宮ノ台)の危険な通学路を調査しました。

ストップ!値上げ 水道料金、手数料・利用料

～ 値上げの議案が続々、すべて数の力で可決 ～

● 水道料金が上がる!

平均的な家庭の1カ月の水道料金は、3509円です。これが来年4月から261円値上げされ、3770円になります。



コロナ禍で生活が苦しくなる一方で、感染予防のため水道水の使用量はますます増えます。安易な料金値上げは避け、次の2点をまず行い、コロナ終息まで値上げは凍結すべきです。

- ①「佐倉市→印旛広域→県」に支払っている負担金の徹底的な見直し。
- ②十数年利用していない企業債(金利0.3～0.5%)の復活。

● 手数料・利用料も上がる!

住民票交付等の手数料、公民館、コミセン等公共施設の利用料が、来年4月から10～50%値上げに。

市は受益者負担と言いますが、施設利用で市民活動や健康増進につながれば、最終的に市にとっても有益で、一概に個人の利益になるとは言いきれません。

また、コロナ禍の真ただ中での値上げは、市民生活に大きな影響をもたらします。

値上げによる増収はわずか1690万円(推計)です。それより、道路や土地購入などの公共事業を精査することで財源を生み出せます。